

■出演者プロフィール



photo: Yosuke Komatsu (ODD JOB)

ギター：渡辺香津美 Kazumi Watanabe, *Guitar*
 名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト。17歳で衝撃のアルバムデビュー。驚異の天才ギタリスト出現と騒がれて以来、ジャズフィールドに留まらない「ギターの可能性」を探求し続け今に至る。生粋のインプロヴァイザーとして、また作曲家としてクラシック界への委嘱作品をはじめ独自の〈カズミサウンド〉を創り出すことでも定評がある。2021年レコードデビュー50周年を迎え精力的に活動中。洗足学園音楽大学ジャズコース客員教授。www.kazumiwatanabe.net/

フルート：荒川 洋 Hiroshi Arakawa, *Flute*
 パリ国立高等音楽院を第1位で卒業。小澤征爾に認められ、新日本フィルの副首席・首席奏者を2019年まで22年間歴任。久石譲率いるFUTURE ORCHESTRA CLASSICS首席奏者。「東京パリアンサンプル」、「カルテット・エスペラント」メンバー。映画「千と千尋の神隠し」、サントリーCM「伊右衛門」、ドラマ「獣医ドリトル」ほか、様々な録音に参加。作曲活動にも力を入れており、2011年クラリネット作品コンクール第3位入賞。室内楽曲、歌劇、校歌等も手掛け、その作品は120曲以上。近年、活動の場をオンラインにも広げ、YouTubeにて新曲を発表し話題に。Udemyでの学習講座は好評を博している。
<https://hiroshiarakawa.com>



ベース：コモブチキイチロウ Kiichiro Komobuchi, *Bass*
 1966年東京生まれ、香港育ち。15歳でベースを始める。ジャズ、サンバ、ポサノヴァ、ラテン、フラメンコ、ポップスなど様々なミュージシャンとの交流の中で音楽を経験しながら活動。渡辺貞夫バンド、渡辺真知子メンバーのほか、渡辺香津美、玉置浩二、マリーン、カルロス菅野、小野リサ、古澤巖など数多くのアーティストの国内外コンサートツアー、録音に数々参加している。最近ではブラジルのアーティストとのコラボ映像もYouTube、Facebookなどで数多く発表している。



フラメンコ・ギター：沖 仁 Jin Oki, *Flamenco Guitar*
 幼少の頃より楽器に親しみ、尺八、ピアノ、ベース、ドラムを経てギターと出会う。日本とスペインに居を置いて20代を過ごす。日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2006年メジャーデビュー。2010年、スペインのフラメンコギターコンクール国際部門で日本人初の優勝。その様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」に出演。以降フラメンコギターの教則本を出版、EXILEへのシングル曲提供など多方面で活躍。ステージ活動は、ソロを始め各ジャンルのトップアーティストとのコラボやオーケストラ、バレエ、長唄、能との共演など多岐にわたる。



ヴォーカル：SHANTI SHANTI, Vocal
 優しくも深く包み込む魔法のオーガニック・ボイス。ジャズ界発信のトライリンガル・シンガーソングライター。これまでに発表したアルバム作品がプロ録音賞優秀賞に選ばれるなど“ハイレブ時代の歌姫”シャンティとして人気を誇る。湘南は逗子の海の前で生まれ育ち、自然とのつながり、環境に優しいライフスタイルを大切にしている。清水西谷とのセミ・クラシック公演などアコースティック・コンサートの魅力を歌で伝えている。



©山本純子

<https://www.shantisnydermusic.com/>

<p>●感動をもう一度！アーカイブ配信で本日の演奏をお楽しみいただけます。 配信期間：公演翌々日12:00~8/31(火) 23:59 視聴については下記サイトをご参照ください。 http://w.pia.jp/a/summer-muza2021/</p>	<p>1,500円 ※ミュージックの会割引あり</p>	<p>●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック ●アンケート ●パートナーショップ特典 はこちらの特設サイトより</p>
--	--	---

ミュージック川崎シンフォニーホール ホールスポンサー		ミュージック川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。		
法人 【特別賛助会員】 NTTアドバンステクノロジー株式会社 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 大本山川崎大師平間寺 三井不動産グループ 【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 味の素株式会社 川崎事業所 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社	川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社きんでん 株式会社ケイエスピー ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 株式会社さいか屋 川崎店 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 高橋昌也税理士・FP事務所	個人 阿部 孝夫 新井 智彦 磯野 和久 市橋信一郎 井上 敏昭 遠藤 智和 大木志乃生 大越麻美子 大塚 具幸 小笠原 将 岡野 功 小野 洋彰 金山 直樹 喜多 祐一 木伏 源太 久住 映子 黒川 裕子	小宮みつほ 後藤 実 小林 知子 斉藤 隆徳 佐藤 晴茂 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高橋 美子 竹内 啓介 都築 豊 中村紀美子 西山 英昭 橋本菜み子 長谷川喜代江 瀧尾 泰 林 直人 平野 信子	廣瀬 治昇 前田 泉 松本 武巳 三村 和吉 山内 利夫 山下 啓史 山田 昌克 A. A D. Y N. A T. Y 他匿名13名 敬称略五十音順

(2021年7月1日現在)

Festa Summer MUZA Kawasaki 2021

フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2021

ミュージック川崎シンフォニーホール

サマーナイト・ジャズ 渡辺香津美KW50「トワイライト・ジャム」

Summer Night Jazz

スーパー・ギタリストの超ジャンル・コラボ

出演

ギター：渡辺香津美 Kazumi Watanabe, *Guitar*
 フルート：荒川 洋 Hiroshi Arakawa, *Flute*
 ベース：コモブチキイチロウ Kiichiro Komobuchi, *Bass*
 フラメンコ・ギター：沖 仁 Jin Oki, *Flamenco Guitar*
 ヴォーカル：SHANTI SHANTI, *Vocal*

曲目

Tears～ベートーヴェン《悲愴》から
 Island
 TAMAYURA～玉響
 Bolero (ラヴェル)
 他

※途中休憩(20分)があります。

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

若手ミュージシャンによるプレコンサート

出演 〈佐瀬悠輔 Quartet〉



佐瀬悠輔 (トランペット)



小金丸 慧 (ギター)



青木マサヒロ (アコーディオン)



清水昭好 (ベース)

ホール内は小さな音でもよく響きます。ご協力をお願いいたします。

- 演奏中の入退場はご遠慮ください。
- 全席指定の公演です。
- ホール内客席では携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器は電源をお切りいただくか、音や振動が出ないように設定をお願いいたします。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。
- 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。

許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

- 鈴のついたアクセサリ、お手荷物など、また、アメの包み紙を開ける際は、演奏中に音が出ないように十分ご注意ください。
- 演奏中の会話はお控えください。
- 曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手をお送りください。

【補聴器等をお使いの皆さまへ】
 ハウリングの発生を避けるために、補聴器等が正しく装着されていることをご確認いただけますよう、よろしくお願いいたします。

⚠️ 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。
 本日の公演は、前後左右の座席は空けておりません。ご購入のお席でお聴きください。

※万一、クラスター(集団感染)の発生が明らかになった際は、保健所等に入場者の情報を提供する場合がございます。

- 【お客様へのお願い】
- ※マスクを着用しない方の入館はお断りしています。常時着用ください。
 - ※手指消毒にご協力ください。
 - ※会話は必要最小限にとどめてください。
 - ※プラボー等、出演者への声掛けはご遠慮ください。
 - ※ロビーでの水分補給を除く飲食はご遠慮ください。客席内は飲食禁止です。
 - ※終演後は、分散退場にご協力ください。
 - ※出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。

【館内設備について】
 ※クローク、ドリンクコーナー、ショップの営業はございません。
 ※冷水器の使用は停止しております。
 ※換気のため、通常よりも空調を強めにしております。
 (ブランケットの貸し出しは停止しております)

.....ご登録をお願いします.....
 新型コロナウイルス接触確認アプリ[COCOA]や神奈川県LINEコロナお知らせシステムのご登録をお願いいたします。

主催：川崎市、ミュージック川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
 後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA
 映像・音響制作：YouClassics
 配信協力：株式会社 ぶらあほホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネク株式会社
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



一期一会ゆえの驚きと喜び スーパー・ギタリストと越境の音楽家たちがおくる、

渡辺香津美とは、何者なのか？

渡辺香津美とは何者か。……この稿を起こすに当たり、そんなことを改めて自問してみたら、キーボードを打つ指がピタリと止まってしまった。果たして渡辺香津美とは、いったい何者なのか。

もちろん、この人の軸足がいつだってジャズにあることは誰でも知っている。日本を代表するジャズ・ギタリストは？とときかれ、多くの人がいの一に挙げるのは渡辺香津美の名だろう。事実、これまで彼が残した作品のいくつか——たとえば坂本龍一等との奇跡的コラボを記録した『KYLYN』。世界トップ・クラスのミュージシャンが集結して生まれた歴史的超傑作『TO CHI KA』。2つのリズム・セクションを使い分け新しいグルーブの在り方を探求した『MOBO』——は、我が国のみならず世界のジャズ史に太書きで記されるべきアルバムだ。

にもかかわらずこの人には、“ジャズ・ギターの大匠”とって簡単に済ませてしまうことを躊躇させるなにかが、ある。その“なにか”とは？

美しいエゴを持ち続ける、永遠の少年

僕はそれを、彼の内に宿り続けている“少年の心”ではないかと考える。一つ事に熱中していても、隣に面白そうなものがあると矢も楯もたまずそこに飛び込んでしまう旺盛な好奇心。欲しいものはなにがなんでも手に入れなければ気が済まない貪欲な所有欲。そんな、少年特有の美しいエゴの結果として渡辺香津美は、欲求の赴くままに他ジャンルと交配し続け、ジャズのフィールドには収まりきらない足跡を残すことになる。今ではもはや伝説となったYMOへの参加。プログレッシヴ・ロックのドラム・ジャンアント、ビル・ブルーフォードと組んだ「スパイス・オブ・ライフ」セッション。『ドガタナ』から『おやつ』、そして『ギター・ルネサンス』シリーズへとつながるアコースティック・ギター・ミュージックの探求。楽曲提供を含むクラシック音楽への接近。

普通これぐらいキャリアを積み上げ、これほどの名声を得れば、「音楽は心でやるもの」的な芸談めいたことを口にしはじめる人も少なくないが、渡辺香津美にはそういう気配が微塵もない。音楽に心が大事なのは重々承知しつつも、細部の技術の錬磨や新しいテクノロジーの開発に拘泥せずにはいられないのだ、この人は。その昔、道を究めたある剣豪は、「我が剣は天地と一つ。ゆえに刀はいらぬ」と宣って無刀という境地に達したというが、渡辺香津美は無刀どころか、収集し続けている80本を超える刀、もといギターを前に、さて今日はどれを使おうか、と舌なめずりをするのである。

しかし、それゆえに渡辺香津美の音楽は、教科書に載る偉人の金言ではない、リアルな言葉としてきき手の心に刺さる。それも、すべての世代のきき手の心に、刺さる。その時彼は、ドヤ顔はするかもしれないが、でもその音は決してしたり顔の上から目線で発せられたものではない。クラスの人気者が、机の上にのぼってギターを弾きまくり、みんなから喝采を浴びる……渡辺香津美にはどこかそんな、人なつこく近い風情がある。ただ、その人気者が天才であるというのが稀なところではあるが。

マルチな才能の融合が生む予測不能の化学反応

おそらくは今宵のコンサートも、そんな渡辺香津美の好奇心が炸裂するものとなるのはまちがいない。それは集結した面々の顔ぶれからも明らかだ。新日本フィルで長年活躍し、FUTURE ORCHESTRA CLASSICS 首席奏者、東京ニューシティ管で契約首席奏者の重責を担う一方ボーダーレス・ユニット「カルテット・エスペラント」を主宰し、作曲家としても活躍中のフルーティスト、荒川洋。日本を代表するフラメンコ・ギタリストでありつつ、あらゆるジャンルのミュージシャン、異分野のアーティストと刺激的なコラボレーションを展開している沖仁。ジャズを起点に、サンバ、ボサノヴァ、フラメンコ等々多岐にわたるミュージック・シーンで八面六臂の活躍を見せるベーシスト、コモブチキイチロウ。オーガニック&ジャジー・ポップなセンスでどんな曲もオリジナルなカラーに染め上げ、“ハイレゾ時代の歌姫”と呼ばれるSHANTI。いずれもマルチな才能を持ち、それを存分に活かしてマルチな場で活躍しているという点で渡辺香津美と同じ種族の音楽家であるが、このメンバーが集ったことによってどんな化学反応が起こり、どんなパフォーマンスが生まれるのか。あるいはそれは、渡辺香津美自身にも予測できないことかもしれない。だがそれこそが、この67歳の少年が望むものでもあろう。

一期一会ゆえの驚きと喜びを、ぜひみなさまにも共有していただきたい。

マイルス・グループ初の日本人! になっていたかも!?

1981年4月某日、自身のグループ [KAZUMI BAND] を率いてニューヨークのジャズ・クラブ、セブンス・アヴェニュー・サウスに出演していた渡辺香津美は、ファースト・セットが終わったところで店内の雰囲気がいとも違うことに気づいた。ふと客席を見ると、なんと、当時隠遁中だったジャズの帝王、マイルス・デイヴィスがボディ・ガードを引き連れて座っているのではないかと。恐る恐るあいさつに行くと、なにか演奏してみると目の前でギターを弾かされ、それに対して帝王は何事かをつぶやいた。が、特有のしゃがれ声ゆえ、渡辺香津美はその言葉をききもらしてしまい、結局この件はうやむやに終わってしまう。

その半年後、来日したマイルス・グループのギタリスト、マイク・スターンから、渡辺香津美はこんな事実を告げられる。「あの頃マイルスは、カムバックのための新グループを結成するためにメンバーを探していたんだ。お前もリハーサルに誘われたはずだがな。もし来ていたら、バンドはオレとお前のツイン・ギターになっていたかもしれない。それどころか、今頃お前のほうがレギュラー・メンバーになっていたかもしれないぜ」

マイルスの傍らでギターを弾きまくる渡辺香津美……その勇姿を見てみたかったと思うのは、僕だけではあるまい。(藤本史昭)



かわさきジャズ2021
ジャズは橋を架ける
Jazz overcomes difference.

チケット好評発売中!

川崎市内全域で、9月~11月に多彩なイベントを開催!
詳細は「かわさきジャズ」ウェブサイト (<https://www.kawasakijazz.jp/>) で